

		観点			
学年	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動や健康・安全についての思考・判断	運動の技能	健康・安全についての知識・理解	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさを味わい、意欲的に活動できるように、めあてをしっかりとさせる。 ・振り返りの時間をもち、自分の成長を感じられるようにする。 ・多様な運動例を授業で紹介し、休み時間にも遊びながら取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく遊ぶことができる場や遊び方を選べるようにする。 ・友達のよい動きを見つけられるように、場の設定を工夫するとともに、良い動きのポイントを確認するようにする。 ・安全に活動できるように正しい運動の仕方や用具の使い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動きを身に付け、体力を養う。体全体を使う運動や機械・器具を使う運動など様々な運動遊びを取り入れるようにする。 ・準備体操の中で柔軟体操も取り入れるようにする。 ・ボールの扱いに使い慣れていない児童が多いので、的あてゲームなどを積極的に取り入れるようにする。 ・場の設定を工夫して、一人一人の運動量を十分確保できるようにする。 		
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な運動例を紹介し、休み時間にも遊びながら取り組めるようにする。 ・準備運動の中にいろいろな動きを取り入れ、継続的に行わせることで、できるようになった喜びを意欲につなげる。 ・関心をもって取り組めるような運動の場の設定(用具・場所等)を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を楽しむための仕方や競争のルールを実態に合わせて工夫する。 ・遊び方を選んだり、友達のよい動きを見つけたりできるように、場の設定やグループを工夫する。 ・めあてをもって運動に取り組むことができるようにワークシートなども活用して、成果を自己評価できるようにする。 ・めあてをもって自ら工夫して取り組めるような、学習活動を設定をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動きを身に付け、体力を養う。特に、投力や握力、腹筋の弱い児童やボールの扱いに慣れていない児童が多いので、準備運動の中に強化する運動遊びを積極的に取り入れ、楽しみながら体力や技能が伸びるようにする。 ・運動量も十分に確保する。 ・中学年になることを見通して、技能の向上を目指す。 		
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす喜びを多く体験させ、運動への関心、意欲を高める。 ・友だちとかかわり合って運動することで、集団で運動する楽しさを実感できるようにする。 ・競い合う楽しさが味わえるよう、学習過程やゲームを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を安全に行うために、正しい運動の仕方や用具の使い方を理解し、使いこなせるようにする。 ・学習カードを活用して、運動についてのめあてや工夫を記入しながら取り組み、ふり返りができるようにする。 ・考えたことや工夫したことを、友達に伝えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動きや技能を身に付けるために、走る・跳ぶ・ボール操作・柔軟・敏捷性を高める動きを繰り返しトレーニングできるような活動を取り入れる。 ・教具、場の設定、規則の工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から基本的な生活習慣を身に付けさせるために、健康な生活について理解させ、食事・運動・休養・睡眠の調子が取れた生活ができるように環境を整える。 	
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことの楽しさを味わせ、運動への関心、意欲を高める。 ・グループ学習を取り入れ、友達と集団で活動する際にはルールを守って、安全に注意しながら協力して活動できるようにする。 ・関心をもって取り組めるような運動の場の設定(用具・場所等)を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を安全に行うために、正しい運動の仕方や用具の使い方を理解し、使いこなせるようにする。 ・学習カードを活用し、一人一人がめあてをもって学習に取り組む、振り返りができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動きや技能を身に付けるために、走る・跳ぶなど動きを繰り返しトレーニングできるような活動を取り入れる。用具・場の設定・ルールの工夫をする。 ・投力や握力、腹筋の弱い児童やボールの扱いに慣れていない児童が多いので、準備運動の中に強化する運動や動きを積極的に取り入れ、楽しみながら体力や技能が伸びるようにする。 ・運動量を十分に確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女の体の成長・変化に対して正しい知識をもち、体を健やかに成長させるために、自分にできることを実践させていくようにする。 ・日々の生活指導や給食の時間を活用し、「早寝 早起き 朝ご飯」の指導を継続的に行い、児童が主体的に取り組めるようにする。 	
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことの楽しさ、心地よさを味わわせ、運動への意欲を高める。また、友達と共に体を動かす楽しさを味わう運動を多く取り入れる。 ・主運動につながる補助運動を取り入れ、主運動にスムーズに入ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを活用し、一人一人がめあてをもって学習に取り組み、できるようになったことなどを振り返ることができるようにする。 ・グループやペアで運動する機会を多く設定し、友達のよいところに気づき、それを生かして運動に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール運動の技能を高めるために、ボールを使った様々な動きを経験させる。特に、投げる力を高めるために、ボール投げ運動の機会を多く設ける。 ・一人一人の運動量を確保するために、場の使い方を工夫した授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の健康やけがの防止など、学習したことを生活に生かすことができるように、実生活に当てはめた場面で、自分で考え行動ができるようにする。 ・ワークシートを活用して「早寝 早起き 朝ごはん」等の取り組みを意識させ、規則正しい生活を送ることができるようにする。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・主運動につながる補助運動や感覚づくりの時間を取り入れ、主運動が喜まへていくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習(教え合い)を取り入れ、友達のよい動きや運動の工夫に気づいたり、それを生かす 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の技能を高めるためにも、1時間内の児童の運動量を確保する 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを生活に生かすために、病気を予防する有効な手段を考へ、学習したことを生活に生かす 	

<p>6年</p>	<p>動が同じくいふようにする。 ・今もっている力で学習が楽しめるよう単元計画を工夫し、第1時では「やってみよう」「できるようにしたい」という意欲と見通しがもてるようにする。</p>	<p>上へに思い付いたつ、てれをエがし たりして運動に取り組めるようにする。 ・学習カードを活用し、一人一人がめあてをもち、振り返りをするとともに、教師が評価を加えながら、的確な課題がもてるようにする。 ・ICTを取り入れ、自分の動きやチームの課題を視覚化し、課題をつかみやすくする。</p>	<p>る。 ・どの領域でも、運動の構造をおさえて、児童のつまずきが把握できるようにし、技能の習得がすすむように工夫する。</p>	<p>をかん、す目したことをエがしエ かけるようにする。 ・手洗い・うがいの徹底を図り、清潔な生活を送れるように意識させる。 ・ワークシートを活用して、「早寝・早起き・朝ごはん」の意識を高め、規則正しい生活を送れるようにする。</p>
-----------	--	---	---	--